

アーカイブの実践

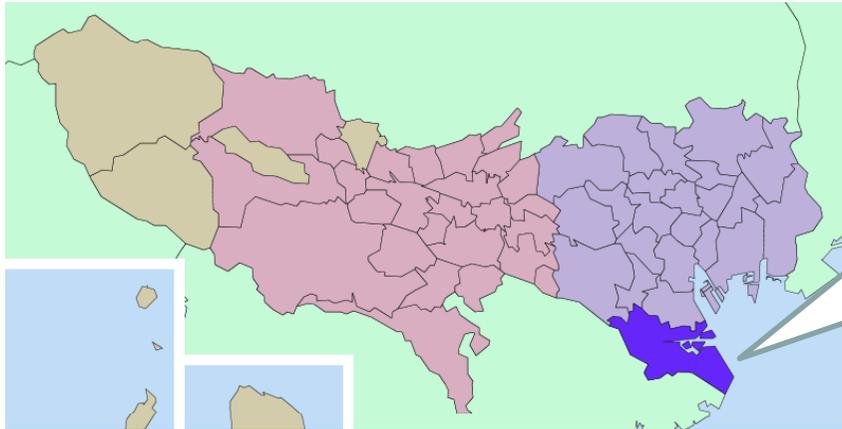
平成24年12月6日(木)14:15~14:45

大田区立男女平等推進センター「エセナおおた」

指定管理者 NPO法人男女共同参画おおた

牟田静香

はじめに①



東京都大田区
東京都23区のひとつ
面積:60.42平方km
人口:697.094人

「エセナおおた」沿革

- ・昭和52年 婦人会館設立
- ・平成 4年 おおた女性センター
- ・平成12年 男女平等推進センター
「エセナおおた」
- ・平成16年～ 指定管理者制度導入
NPO男女共同参画おおたが
指定管理者に！



はじめに②

平成12年 大田区男女平等推進センター「エセナおおた」区民自主
運営委員会 発足

平成15年4月 区民自主運営委員会に事業運営を移行

12月 区民自主運営委員会が母体となり、
NPO法人男女共同参画おおたを設立

平成16年 同法人が「エセナおおた」の指定管理者(施設管理)となる

平成16年～17年 施設管理業務:NPO ⇒ 指定管理者

(第1期) 男女平等推進事業:区民自主運営委員会⇒委託

平成18年～22年 施設管理業務:NPO ⇒ 指定管理者

(第2期) 男女平等推進事業: NPO ⇒ 委託

平成23年～28年 施設管理業務および男女平等推進事業

(第3期) ⇒NPOが指定管理者となる

「エセナおおた」の事業（2011年度実績）

大田区男女共同参画推進プランにのっとり実施

●講座事業

男女共同参画の意識啓発、男性・子どもへの意識啓発、女性の就労支援、女性に対する暴力防止、女性リーダー養成、ワーク・ライフ・バランス普及、防災における男女共同参画の推進等 年間19講座、全104回

●情報事業

情報紙年3回発行、図書貸出、HP、ブログ、メルマガ発行

●展示事業

テーマ別に年間12の企画展示

●広場事業

子どもと保護者向け 毎月5回、年間60回実施

●交流事業

ボランティアスタッフの募集・育成（120名）

防災・震災支援事業のこれまでの取組

- 2007年より毎年、防災研修・セミナーの実施
- 情報提供：女性の視点で情報を収集・館内掲示
現地取材した情報等を情報紙で連載
- 講演会：講談師 神田織音さんと共に創った新作講談を上演
- 大田区内の他団体との連携：大田区被災地支援ボランティア調整センター運営委員会に加入。避難者への支援に関わる
- 大田区総合防災力強化検討委員会報告書へ
パブリックコメント⇒「人権に配慮した防災対策の推進」が新設
- 2012年 全国女性会館協議会主催事業企画大賞に応募
エセナおおたにおける「女性と災害」の取組が「特別賞」に
- 2012年12月～大田区の防災会議に5人女性委員増員
団体推薦で男女共同参画おおたから委員に

デジタルアーカイブ化のきっかけ

文科省が募集した「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」に応募



大田区へ避難している被災者向けの事業を企画

- ・就労支援の無料パソコン教室
- ・女性相談 ・映画上映会 ・ハンドメイドサロン
- ・子ども向けの料理教室、工作教室 etc.



300万円弱の事業予算

この事業を記録として残せるかも！

ついでに過去の事業も・・・

NWEC、インフォコムさんとの連携①

10月2日 キックオフミーティング

NWEC、インフォコム、エセナおおたのメンバーが参加

10月3日～～

データ収集、入力作業開始。不明な点はNWEC・インフォコムにその都度確認し、メールでやりとり

11月26日 技術的な情報交換

11月30日 インフォリブにデータをアップロード

NWEC、インフォコムさんとの連携②

デジタルアーカイブ化で一番のネックは

デジタルアーカイブの必要性への周りの理解

相当の労力、かなりの費用をかけてまで
デジタルアーカイブ化がはたして必要か？

紙で残ってるからデジタル化なんて必要ないん
じゃない？それを誰がやるの？



なぜ今必要か、理事会で説明(説得?)を
お願いしました。

「エセナおおたの歴史を携わった人の記憶に残す
だけでなく、消えない記録として残すべき」

デモ画面で一気にモチベーションアップ

NWECの協力のもとデモ画面が完成し、ようやく光が...

女性デジタルアーカイブシステムでは、国立女性教育会館女性アーカイブセンターが所蔵する資料の目録データベースとデジタル画像を提供しています。検索キーワードを入力して「検索」ボタンをクリックしてください。

検索: 震災

お知らせ

2012.9.@@ 女性デジタルアーカイブシステムが新しくなりました。
2012.9.@@ 女性アーキスト研修参加者募集中です(HPへリンク)

デジタル画像の公開について

デジタル画像情報をお持ち
【連絡先】
独立行政法人
住所: 〒385-0292 埼玉県比企郡嵐山町宿
TEL: 0493-6

検索結果一覧 2件ヒットしました (1 - 2 / 2)

検索条件 全ての項目(震災)
[チェックしたデータのみ]

No.	事業名	事業実施日(始め)	内容	対象者(性別)	対象者(年代)	講師名	参
1	映画会&フラダンスショー「がんばってフラガール〜フクシマに生きる。彼女たちのいま〜」&フラダンスショー	2012年12月01日	3.11で被災しながらも、福島のフラガールたちは笑顔で困難に立ち向かい、全国キャラバンに動き出しました。彼女たちの舞台、スハリゾートハワイアンスの営業再開に向けてみんなの心が一つになって...。東日本大震災以後のフラガールの日々を追った感動のドキュメンタリー映画です。映画上映後は福島から元スハリゾートハワイアンスのダンサーによる本場・フクシマのフラダンスショーも行います。	男女	全般		無
2	INFORMATIONエッセナおた。第37号	2011年06月15日	「現場ルポ・東日本大震災、岩手県宮古市への同行支援。女性たちのネットワークに感動」、「エッセナおた。自分らしさを見つけるステージ」、「エッセナおたの人気講座紹介 女性のための課題解決能力向上セミナー〜論理的思考を身につけ、発言する力をアップさせる〜」、「女へんの漢字を調べてみよう!」、「展示 折り紙で彩る源氏物語の世界〜千年の時空を超えてよみがえる雅な平安絵巻〜」、「カフェおひさま おいしいお茶でおもてなし」				

ページTOPへ